

育 Me 科 学習指導案 「はっきりと断る」

○ねらい

他者から誘いを受けた場面、頼まれごとを受けた場面などでの断り方のポイントを理解し演習することを通して、普段の自分の姿を振り返り、良い断り方を実践しようとする意識をもつことができる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点						
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習内容をペアで確認する。(各学年で学習内容は別。) <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師がモデリングを見せる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【場面】</p> <p>A:「前回の数学の学習内容が思い出せん。ノートを見たんやけどちゃんと記録してなくて、ノート見せてくれん？」</p> <p>B:「えっ？嫌。」(冷たく)</p> <p>A:「ごめん。わかったよ。」(少し怒って)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・モデリングの断り方を分析し、良い断り方のポイントを理解する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①はっきり断る ②理由を伝える ③代替案を伝える</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのポイントを含んだ断り方をモデリングする。 <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんな場面でも、相手に応じた方法ではっきりと断ってみよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ学年のペアで話さなくてもよい。 ・断る側に注目させる。 ・何度かロールプレイを繰り返すことで、断り方のポイントを引き出す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「ごめん(①)、今ちよっと使ってるの(②)。これ終わってからでもいい(③)?」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすい伝え方」「非言語的コミュニケーション」を用いてペアで確認する。 ・本時扱う「断る」場面は、非行などの誘いへの「断り」ではなく、日常でありそうな場面の「断り」方であることを補足する。 						
展開	<p>4 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人1グループで活動する。(A:誘う B:断る C、D:評価者) ・用意された複数の場面(誘う側)に応じて断る練習をさせる。役割を交代しながら順番にロールプレイをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【場面1】休日にLINEで友人から「今日遊ばない？」と電話が来たが、予定があって遊べない。</p> <p>【場面2】委員会に関して先生から「昼休みにやってほしいことがある」と、お願いを受けたが昼休みは別の係の仕事があって忙しい。</p> <p>【場面3】授業後に友人に「次の授業の準備をしたいから、すぐに黒板を消して。」と頼まれたが、急いでトイレに行きたい。</p> <p>【場面4】友人と一緒にAさんのことを避けたり、無視したりしようと言われた。</p> <p>【場面5】給食中に、Aさんに(大好きな唐揚げを)「これ、僕大好きなの。君、いつもそんなに量を食べないし1個ちょうだい。」とお願いされた。</p> </div> <p>5 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名の生徒に指定した場面での断り方を実演させる。誘い役は教師。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループに教師も加わり、生徒にアドバイスを送る。 ・グループにそれぞれの場面を示したカードを配付する。裏返したカードを引き、示された場面でロールプレイをする。その後、役割を変え、再度カードを引いてロールプレイをする。 ・評価者は評価を伝えるのに加えて、役割Bの断り方をどう感じたか伝える。 <p>【評価基準】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>A</td> <td>気持ちよい。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>当たり障りない。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>少し嫌だ。</td> </tr> </table>	A	気持ちよい。	B	当たり障りない。	C	少し嫌だ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「丁寧にお願いする」「上手に話を聴こう」「非言語的コミュニケーション」を用いて、グループ活動を行う。 ・断るときには言葉だけでなく、表情も含めた非言語的コミュニケーションが有効になることを理解させたい。
A	気持ちよい。								
B	当たり障りない。								
C	少し嫌だ。								
まとめ	<p>6 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容と普段の生活における自分の姿を比較する。 ・振り返りを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【出口での生徒の意識】</p> <p>「普段の自分の断り方はぶっきらぼうだったかもしれない。理由を含んで丁寧に断れるようにしたい。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Formsで記入する。QRコードを提示する。 							